

わたしの文化

2 エッセイ⑨⑨ 中川 幸雄さん

- 3 獅子・狛犬の世界② 寺田 誠さん
- 3 日々を詠む⑨① 選・評 植木 利衛
- 4 My 仕事 ⑩⑧ カフェハルモニア 川村 昌弘さん



ふるさと探訪パートⅡ(72) 5

10Qじいじさんのちょっと笑える夜空のお話し(新) 6
 おかげさまで合併5周年!
 公益財団法人日立市民科学文化財団 8



「わたし達だけの夏」

撮影：和田 浩司さん（滑川本町在住）
 撮影場所：新都市広場

八月二一日は噴水の日である。一八七七年の同日、東京上野公園でおこなわれた内国勸業博覧会において日本初の西洋式噴水が設けられたが、それを記念したものである。実際噴水が初めて動いたのは別の日であるとも言われているが……。

人は水に惹き込まれるものらしい。水には癒し効果があるとされる。我々の祖先が海から生まれたからであろう。または胎児の時から、母親の胎内で羊水に守られながら育った記憶か。そのようなことから、水に対しどこか懐かしい気持ちを抱くと言われる。水の音はその最たるもの。せせらぎやさざ波の音、静かに降る雨の音等。涼しさや清潔さ、爽快感が得られるからだとか。

私たちは、生きていく上で様々なストレスを抱えながら生活している。爆発寸前にまで追い込まれながらも、何とか通常の状態を保とうと、必死に踏みとどまる。癒しは我々現代人にとって重要なキーワード。巷には様々な癒し療法やグッズが溢れている。これらに頼らざる得ない現実。憂慮せずにはられない。

涼を求めに来ただけ。この少女達は答えるだろう。何気ない日常に隠された暑さを乗り切る知恵の一つだ。やがて訪れるであろう人生の岐路で、どのような選択をするのか。今はただ屈託のない笑みを浮かべるのみである。

エッセイ

99

オペラへの思い そして 《La Traviata/ 椿姫》

中川 幸雄



なかがわ ゆきお

鉄道模型趣味が高じて鹿嶋市に個人で鉄道模型館(車両 1000両)を建設。旋盤やミリング盤工場を持ち多くのお客様を迎える。併設の陶芸工房では釉薬に凝る。自作の真空管アンプはネットで人気。ピアノ、もの書き、ダンスなど多趣味。



オペラ終演後のワイン
(ウィーンAugustinerKellerのPeterと)

学生時代から本格的に聴き始めた器楽中心の私のクラシック音楽を、オペラへと大きく転換させたのはパヴァロッティ(テノール)のリサیتالでした。「これが人の声か」とただただ茫然としました。その後オペラに関するLPの収集、FM放送の録音、二期会鑑賞会員になり、ミュージックレストラン通いに熱中しました。海外出張時はなんとか時間を見つけてオペラハウスの見学。運がよければ公演を楽しみ、ワイフとの海外

旅行も「オペラ」がキーワードになりました。退職後は年2回各2〜3週間、10〜15公演の「オペラだけが目的のヨーロッパ(単独旅行)」を定例化し、これまでに14回になりました。総合芸術であるオペラの舞台はもちろん、その背景にある歴史・文化・街・オペラハウス・人々、そしてワイン。これらは回数を追うごとに、新しい感動が積み重なります。



プライベートオペラコンサートで
「椿姫の乾杯」を弾く

オペラをもっと楽しみたいという想いは、私の好きな歌きな曲を歌うという「プロ」



「ひたちオペラ合唱団」《こうもり》公演
(2017年9月)

ライブ・オペラ・コンサートに誘われ、30人ほどの仲間や知人に加わって、この機会に参

わかないままの大冒険でした。初めての舞台が《カルメン》でしたが、先輩の優しいご指導と励ましのおかげで歌うことができました。合唱団の会報に「私が訪ねた世界のオペラハウス」を執筆し、連載はすでに70回を超えました。その「ひたちオペラ合唱団」は、1997年に設立以来自主公演「OPERA NOSTRA」

まで5回を数えます。自らも演奏したいと必死に挑戦したエレクトーンで弾くのは、オペラ曲ばかりでレパートリーも増えました。地元「ひたちオペラ合唱団」の演奏には昔から関心を持っていました。オペラをもっと楽しむためには自分でも歌うしかない、と入団させていだいたのが6年前のことです。自分のパート(音域)も

ほっこり！素敵な出会い

日立市民会館で開催されるイベントは多岐に渡る。コンサートや講演会、式典、バレエや日舞の発表等々。イベントの度にこれまた多くのお客様に触れる機会がある。

1300という客席の多さから、イベント毎に必ずと言って良いほど忘れ物が届く。鉄板の傘や帽子、ハンカチなどから、びっくりするくらいの金額が入った財布や真っ赤なドレスなどが届けられたことも。お金はもちろん警察に届けるが、品物はお預かりして落とし主から

の連絡を待つ。思い出の品に会えた時のお客様の笑顔に私たちもついつい笑顔になってしまう。

幼児向けの観劇会。小さなお客様たちと触れ合える瞬間がたまらなく楽しい。主人公がピンチになると「がんばれ」の大声援がホールに響く。終演後、ホールを後にする子どもたちとハイタッチ。小さなお客様からエネルギーをいただいてホクホク。つい大声で「また来てね」と叫び手を振っている自分がいた。

を始め日立新都市広場での野外オペラ、あるいは各地域コミュニティ行事への出演など、日立市のテーマである「オペラによるまちづくり」の一翼を担って来ました。団員は約40名、30才代から80才代と幅広く、練習場所は日立シビックセンター・中小路交流センターで、ほぼ毎週行っています。本年9月22日(日)には日立シビックセンターで第6回「OPERA NOSTRA」として《La Traviata/ 椿姫》公演を行います。私たちは合唱練習に加えて作品



9月22日公演予定
《La Traviata/ 椿姫》

まちなのサロン 日立市民会館



写真1 神倉神社

中国の国家制度に倣った律令制度が確立されると、祭祀も国家の制度の

「神社とは」と「参道狛犬」
古代の日本人は、巨木、巨岩には神が宿ると考え、自然は神であり、自然現象は神の意志表示であると畏敬の気持ちで、人々はそこを神を祀る場としました。

古代より、神に対する祭祀は、氏族や共同体により様々な形で行われていましたが、やがて大

魅力たっぷり「獅子・狛犬の世界」②

寺田 誠 (てらだ まこと)

日立市末広町在住。(株)日立ライフ建設部を定年退職。

現在、NPO法人社叢学会会員。

ライフワークとして40余年間「獅子・狛犬の世界」を探索。

また「モンゴルに桜の花を」事業を展開。

オペラ・ミュージカル「日立の玉手箱」公演に向けて活動中。



写真2 鯨口 那智・青岩寺

ひとつとして、神祇官という役職が設けられ、神祇令に従って公的に祭祀を執りしめるようになり、国をつまぐ治めるためには祭祀が大切であるということから名目的に太政官と対等に並べられました。実質的には大きな権力はありませんでした。

10世紀に著された「延喜式」は神祇制度を知るための重要な資料で、この「延喜式」神名帳には全国で二八六座、常陸国で二十八座(日立一座)の式内社の名前が記載されています。

神祇制度は、平安時代になると数多くの式内社に班幣を行うのが経済的に難しくなり、システムが崩れていき、祭祀の権限を地方に移譲して行くようになりました。

京都を中心とした朝廷から特別崇敬を集めた「二十一社制」が確立し、また、古代日本の律令制では国内が68か国で統治され、その国で最も神格の高い神社が「一の宮」とされました。更にその国の神社の神々を一方所に集めて祀る「総社」が生まれました。



写真3 大甕神社・玉取り狛犬

南方熊楠が環境・生活保護面から合祀反対活動を行った

平安時代以降、神仏は合体し、神と仏が同じ建物・敷地の中に祀られるようになりました。「神社」という呼称が普通に用いられるようになったのは、明治の初期、神社が国家の管理(神仏分離令)になった時からです。

神社の参拝には神殿前の神鈴(写真・1)を鳴らし、寺院の参拝には仏殿前の鯨口(写真・2)を鳴らす。これは明治政府の神仏分離令の方策の一つとしての法令によるものです。

法人登録の神社は、八万三千八百余社あります。その祀られている神様(祭神)で一番多いのは八幡で、次いで伊勢、天神、稲荷、諏訪など、鹿島は14位の順位となります。

各県の神社数で一番多い新潟県が四七七八社あるのですがそれに対して沖繩を除くと最小の和歌山県は四二六社で(岡田莊司データより)、これは明治末に知事の権限で神社が合祀整理された影響が強く働いているようです。和歌山県においては、

11 日々を詠む

《選・評 植木 利衛》

長年の夫婦なれば「空気のような」存在だが、空気がなければ生きていけないように、配偶者がいねば生きていけない夫婦のかかわりこそ、長い共同生活の最終目標であろう。作者は妻を見やるのだ。共に老いたが、支え合いながら晩年を全うするのである。(東金沢町在住)

みそ汁の湯気の向こうに妻の笑み
中澤 博之

たおかげで、現在の熊野古道の景観が保たれています。
茨城県の法人神社数は二四六三社、狛犬が鎮座の神社は三一九社、狛犬数は三九二対です。そして日立市の法人神社数は58社、狛犬が鎮座している神社は21社、狛犬数は26対です。
(茨城県神社誌(昭和48年)一九七三年)3月刊行より)

大甕神社の狛犬余話、15年前の日立市のホームページ「ばんぼん」英文による案内に掲載したところ、ブルガリアのブタペスト大学で建築意匠(建築の屋根ドーム)を支えるを研究しているタルナイ教授からメールにて「komainu...?」の問い合わせがありました。後日、建築意匠を共同研究している京都大学名誉教授宮崎興二先生から改めてこの狛犬の足元に置かれている玉形(球体に刻まれた模様・構造)について問い

く研究対象外となりました。私たちが日頃、目にしている狛犬(参道狛犬)の発祥地は日光東照宮奥之院で、日光廟の増築の監督をした二人の大名・松平右門大夫正綱、秋元但馬守泰朝がその功績等で特に許され神君の墓を護る一對の石造狛犬(写真・4)です。これを模して江戸、81年後に大阪・住吉大社そして31年後に京都・安井金毘羅宮、さらに日本全国に普及しております。



写真4 日光東照宮・奥之院狛犬

合わせがあり、大甕神社の狛犬を案内いたしましたが、その球体の模様は上下の部分が表現されてな

My 仕事

118

シビックセンターにカフェがきた！

株式会社喜聞屋
川村 昌弘さん
(幸町／
カフェハルモニア)

「一日二四時間じゃ全く足りないですよ。」人懐こい笑顔で話す川村さん。飲食業だけでなく、便利屋までエネルギーにこなす毎日。シビックセンターにオープンしたのは今年四月。シビックセンターのレストランスペースは、近年は指定管理者による自主営業をおこなっている状態であり、出店してくる企業を待ちに待っていた。「儲けは少ないですけれど、全然焦っていないんです。」と川村さん。そんな川村さんに出店の経緯と思いを伺った。



「飲食関係とかどう？」と言われた。自分では考えていなかったのですが、自分でもびっくりしました。でもやってみるかという気分になって、バーで働いてみることにしました。実は性に合っていたんでしょね。とにかく楽しく仕事が続けられました。二五歳の時、結婚を機に独立。今の喜聞屋を開店しました。そこから二〇年が経って今に至ります。

—— 日立商工会議所の先輩

から、シビックセンターに空いている飲食スペースがあるんだけどやってみたらいいのではと打診を受けました。駅前というところで地の利は悪くないし、公共的な施設に出店するのも悪くないと考えて、ハルモニアをオープンしたんです。採算とかあまり考えていませんでした。(笑)。

—— オープンして丸三か月

経ち、いろいろわかってきたことがあります。シビックセンターという施設ならではの客層とか、良いと思われた立地のこととか。とにかくビックリしたのは「駅前なのに人が少ない」ということでした。人が少ないのであれば、シビックセンターまで足を運んでもらえるように、私たちのお店でお客様を呼ばないじゃな



料理は趣向を凝らし、季節によって食材にこだわる。

いかと考えました。

—— インパクトが重要だと思えます。例えば、ハルモニアではシビックセンター入り口付近にブースを出して、期間限定でかき氷を出させていたれています。値段は他と比べて高めに設定しました。でも、県内の一流の食材をふんだんに使って、大きさや質、もちろん味にまで、細部にこだわったものを提供させてもらっています。儲けといえは僅かです。敢えてシビックセンターでやるということに意味が有るかなと考えました。お祭りで一人三〇〇〜四〇〇円でかき氷を食べるとして、ウチのかき氷は二、三人で食べても良いくらいの大ささなので、割れば同じくらいの値段が安いくらい。お客様に感

想を伺ったら、もう他所では食べられないねって言ってもらいました。(笑)。

—— 様々な条件を見て活かしつつ、長い目で見ていきながら、様々なプランを試していきたいですね。頭にプランをたくさん温めているんですよ。まだまだ、一つのプランしか実行していない段階。少しずつプランを出していきたい、皆さんを驚かせていきたいなって思っているんです。

—— 大きいイベントも大切ですが、単発ではあまり効果が無いかなって思います。残念ですが日立市でもそういうイベントが多いと思う。私はイベントは継続していかなくてはならないと考えます。小さくても良いんです。私はシビックセンターを拠点に発信し続けたいなって思います。毎日何かをやっている人が集まるし、日立市が潤っていかると信じています。会社のためだけじゃなく、お客様のため、ここを貸して下さっているシビックセンターのため、また力を貸してくれている従業員のために少しでも話題を提供できるように、頑張ります。



店内はあえて木目調で統一。コンクリートの中のオアシスをイメージした。

—— 地元出身です。普通のサラリーマンの家庭に生まれました。高校二年生の時、当時夢中でやっていた音楽で食べて行きたくて、学校を中退し、東京へ出て行きました。細かいことを言う親では無かったのですが、親をやれと言って送ってくれました。食はならず、建築関係のバイトをしながら音楽を続けました。四年経ったある日、父が病に倒れてしまったこともあり、夢をあきらめて帰ることにしました。二一歳でした。

—— 高校中退の若造が簡単に就職できるような環境では無かった。それでもプラプラしているわけにはいきませんからね。仕事は必死に探しました。そんなある日、知り合いから「お前は愛想が良いし、人見知りせず話せるヤツだから



ふるさと探訪パートII- 72

広原長七郎の画業

大森 潤也
(日立市郷土博物館学芸員)



広原長七郎《馬市 (A)》1950年 日立市郷土博物館蔵

近代の茨城県北における美術関係の特筆すべき出来事には、五百城文哉の作画の旅(明治23-25)、岡倉天心が率いる日本美術院の五浦移転(明治37-39)、中村彝の川尻逗留(明治40)などが挙げられる。大正時代になると茨城美術展や白牙会展といった美術展・団体が発足し、中央の美術とリンクしながら様々な美術家が活動するようになった。この

ような動向の中で日立の美術の先駆けとなったのが昨年本紙で紹介した斉藤勇太郎と、広原長七郎の二人であろう。

明治43年(1910)2月15日に東茨城郡石塚村(現・城里町石塚)に生まれた広原長七郎は、19歳のときに絵を描いて生活する決意を固めて上京する。初期の広原の油彩画には、彼が交流した独立美術協会の今西中通からの影響がみられる。この時期の今西作品の激烈な描線、黒と原色との大胆な対比、野性的な生命感と沈鬱な表情とが渾然とした様相を広原はすすんで参照している。

昭和20年に広原は夫人の実家のある多賀郡榎形村友部(現

日立市十王町友部)へ疎開し、終戦後も同地に定住した。櫛形炭鉱や近隣の風景を描き始め、地元の美術活動にも関わる。昭和21年の白牙会への参加に続いて昭和22年には日立美術協会の創立会員となり、続いて昭和23年に誕生した茨城県展で展覧会委員となって翌年は審査員を務めている。しかし広原は昭和23年に日立美術協会を退会し、白牙会から独立した茨城洋画会の結成に参加するものの第2回展からは参加せず、県展も昭和25

年以降は出品していない。県内の美術界との関わりが希薄になった広原を魅了したのが高萩の馬市である。昭和30年代頃まで行われていた馬市は江戸時代から高萩の主要産業だった馬産に関わるものであり、関東一円から仲買人が集まっていた。

馬市を描いた佳作として昭和25年の独立展に出品した《馬市(A)》がある。夕暮れを思わせる黄褐色の中で近景・中景・遠景にそれぞれのドラマを重層的に配した手法は馬市の喧騒にひそお蔵かな空気をすくい上げる。画面の中央付近でひとり既の

柱にたたずむ少女は、幼くして亡くなった広原の愛娘の姿であるという。別れゆく馬と人々とが織りなす光景に自身の心情を折り込むことにより、作品に孤独感を染みわたらせている。

この後の広原は日立周辺の景象を中心に、軽快な筆致と明るい色彩の対比による、おらかな新生面を拓きつつ、69歳でその生涯を閉じた。昭和初期という日本近代洋画の成熟期に自己形成した広原は

単なる西洋の模倣ではない、自らに誠実な絵画を希求したことであろう。そのような画家の充実期の創作が特に日立周辺の景象を主題として展開され、実を結んだことを考えれば、広原にとってこの土地との出会いは、非常に有意義なものであったといえるのではないか。翻って考えるに、土着的な営みの確かな描き手を持つことができたこの地域もまた幸運である。

友の会だより

日進月歩

委員 小林 美津江

人生後半の手習が今、ひとすじの光を与えてくれていきます。十年来独学で続けてきたキーボード演奏に技術的な限界を感じ、ピアノ教師に師事しています。緊張と不安の中で早や8ヶ月になりました。一曲にかける時間の長さは、私にとって忍耐の連続でした。長い間自由に進めてきたレッスン法が身について4ヶ月位は大変でした。最近では大分集中力が付き曲にじっくりと向き合えるよ

ひたち市民会館
友の会



うになりました。そして少しずつ進歩している手応えに喜びを感じています。過日、友の会設立三五周年記念事業があり、「宇崎竜童弾き語りライブ」を聴かせていただきました。勢いのある歌声に感動いたしました。そして更に生きていく喜びをかみしめたひとときとなりました。これから進める事業の県文オペラ「椿姫」の鑑賞や一泊の旅にも人と心の素晴らしい出会いがあるのではないのでしょうか。このときめきを胸に秘めて一緒に参加してみませんか！お一人でも安心してご参加できます。

【中秋の名月は満月?】

今年中秋の名月は9月13日です。秋の中ごろというには、いささか早すぎませんか。

なぜこの日なのでしょう。それは、旧暦の8月15日がこの日だからなのです。えっ、8月?もっと早いですね。8月が秋って、私たちが使っているカレンダーでは夏真っ盛りですよね。実は、この旧暦というののポイントです。今でも私たちの生活の中で旧暦が使われることがあります。例えば、お盆休みは8月に取る方が多いですね。これって、旧暦のお盆だからこの時期に休みを取るのです。では、旧暦と私たちが使っている新暦(グレゴリオ暦)は、どう違うのでしょうか。

旧暦は1月から3月が春です。年賀状に「迎春」「迎春」とは4月から6月が夏、7月から9月が秋、そして、10月から12月が冬ということになります。勘の良い方はもうお分かりですね。つまり、秋は7月から9月ですから8月の15日が秋の真ん中の日で中秋というわけです。

さて、その中秋の名月は「最中の月」と呼ばれることがあります。読み方は「さいちゅうづき」です。

ではなく「もなか」です。秋の最も真ん中の日の月で「最中の月」です。

「最中」と言っても思い出すのは和菓子の一つで、今でもよく食べる美味しいお菓子の「最中」ですが、このお菓子と関係があるのでしようか。実は、あるんです!

最中と名前が付けられたお菓子は、昔、公家が行っていた宴に供されたお菓子の一つで、当時は丸い煎餅の様なものだったと言われています。風流を愛した貴族たちは、その丸いお菓子の形が池に映った美しい満月のようだと感じたのでしよう。実際に、江戸中期に吉原で「最中の月」という名前のお菓子が売り出されたという記録があるようです。今では、四角い最中もありますが、本来の意味での最中は丸くなくてはいけないのかもしれないですね。

新連載 10Qいいじさんの ちょっと笑える 夜空のお話し

17日目は、日が沈んでから月の出まで立ったまま待つていられるくらいの時間で昇ってくるので「立待月(たちまちつき)」。

18日目は、立って待つのに長いけど座って待てるくらいなので「居待月(いまちつき)」。

19日目は、座って待つのも疲れるので寝て待とうということ。「寝待月(ねまちつき)」。

20日目は、夜更けになるまで出てこないの「更待月(ふけまちつき)」。

日本人の自然を愛する習慣がだんだん忘れられていくのは残念なことですが、時には思

い出してください。ちなみに中秋の名月は満月ではありません。翌日が満月(十五夜)です。なので間違えの無いように。

満月になった後は、また少しづつ欠けていく月ですが、昇ってくる時間も遅くなっています。その月にも日本人はこんな素敵な名前を付けました。

満月(十五夜)は、日の入りとほぼ同時刻に昇ってきますが、翌日は月の出が少し遅れるため、月が出るのをためらっているように見えることから、「ためらう」という意味の「いざよう」という言葉を使い「十八夜(いざよい)の月」と呼ばれます。

17日目は、日が沈んでから月の出まで立ったまま待つていられるくらいの時間で昇ってくるので「立待月(たちまちつき)」。

18日目は、立って待つのに長いけど座って待てるくらいなので「居待月(いまちつき)」。

19日目は、座って待つのも疲れるので寝て待とうということ。「寝待月(ねまちつき)」。

20日目は、夜更けになるまで出てこないの「更待月(ふけまちつき)」。

日本語って美しい!

角笛シルエツト劇場

やさしい心は 花を咲かせ つよい命は 山になる
 声の出演 市原悦子
花さき山
 原作/斎藤隆介 脚色/山上路夫 音楽/渡辺岳夫
 演出/角笛文芸部

つのだふえのうた
 うた/たいらいさお 稲村なおこ
 構成・演出/角笛文芸部 音楽/松山祐士
劇団角笛 第56回公演

美術/まゆみずお 舞台監督/宮澤知広 舞台製作/山中勉 企画・制作/白石武士

2019年 11月11日(月) 開演:10時00分(開場:9時30分) 会場:日立市民会館ホール(日立市岩間町1-5-8)

入場料 おとな 1,100円 小子ども 800円 全席指定 2歳以下無料。3歳以下観覧不可。

◆お問合せ: 日立市民会館 ☎0294-22-6481

第166回 文化サロン -ミニ講演会- 『切り絵で町おこし』

講師 切り絵作家 竹蓋 年男さん

9月29日(日)午後1時30分~ 日立市民会館 111号室



「うちの町には何の魅力もないんだよね。」実際には魅力満点の町なのに勿体ない。住民の方々にその事を伝えたくて、切り絵で町おこしのお手伝いを始めた。その経緯と切り絵の魅力についてお話します。

参加無料

劇団コミュン創立20周年記念公演 ひたち街角小劇場

会場:多賀市民会館小ホール

9月21日(土)	①18時~	前売	1,500円(特典付き)
9月22日(日)	②11時~	当日一般	1,500円
	③15時30分~	高校生以下	1,000円

ひたち街角小劇場参加団体 公演情報

第51回水戸市芸術祭 劇団があべる
演劇フェスティバル 「シンデレラ ファイナル」
 8月16日(金)~18日(日) 9月28日(土)、29日(日)
 8月23日(金)~25日(日) 多賀市民会館小ホール
 水戸芸術館 ACM劇場 チケット発売中

◆お問合せ: 多賀市民会館 ☎0294-34-1727

きかんしゃトーマス ファミリーミュージカル ソドー島のたからもの



と き
8月25日(日)
①12:00 ②14:30 開演
ところ
日立市民会館ホール
入場料
全席指定2,800円
(友の会2,600円)
※2歳以上有料
※2歳未満1名まで膝上鑑賞可。ただし、席が必要な場合は有料となります

※14:30の公演は、お子様に特製トーマスシールプレゼント！

チケット好評発売中！

DRUM TAO

THE RHYTHM OF TRIP
時空旅行記2

世界26ヶ国。観客動員数800万人超。

THE NIPPON ENTERTAINMENT

10/20(日) 日立市民会館ホール 17:00開場 17:30開演
全席指定 6,000円
日立市民会館友の会料金 5,800円

チケット好評発売中！

第32回 ひたち童謡のつどい

2020年
1/19 (日) 14:00開演

入場料：全席指定
一般 1,000円(友の会900円) 中学生以下500円(友の会450円)
ペア 1,300円 ※当日券：一般1,200円 中学生以下600円
(一般+中学生以下のペアでご購入の場合/前売り券販売のみ)
会場：日立市民会館

出演

- 第1部 地元出演者によるステージ
- 第2部 クロボンズファミリーコンサート

チケットは…
10月26日(土) 9:30～ ひたち市民会館友の会および20枚以上の団体受付開始
電話受付のみ(☎0294-22-6481)
11月 9日(土) 9:00～ 日立市民会館/多賀市民会館/日立シビックセンター
/「J」ホール 窓口発売開始(シビックセンターのみ10:00～)
13:30 残券がある場合のみ電話受付開始

オーケストラ公演 群馬交響楽団演奏会

と き 9/16(月・祝) 16:00開演
ところ 日立シビックセンター音楽ホール

入場料 全席指定
S席 4,000円
A席 3,500円
B席 3,000円
高校生以下 1,000円

指揮 大友 直人

日本の地方オーケストラの草分け的存在。創立74年の歴史を持つプロ・オーケストラ群馬交響楽団による日立公演。人気の高いシンフォニーセレクションをお届け致します。

チケット好評発売中！

親子で一緒に楽しむ体験型音楽イベント 星のカーニバル

と き 10/13(日)
10:30～12:30 ワークショップ&フードタイム
12:30～13:30 コンサートタイム

ところ 日立シビックセンター 多用途ホール

入場料 全席自由
一般 …………… 1,000円
高校生以下 …………… 500円
ペアチケット
(一般&高校生以下セット) …………… 1,200円
※3歳未満観覧無料

チケット好評発売中！

洋楽文庫 第2章 仲道 郁代

オール・シューマン・プログラム

■と き 2020年 2/8(土) 14:00開演
■ところ 日立シビックセンター音楽ホール
■入場料 全席指定
一般 3,000円 高校生以下 1,000円

ピアニスト仲道郁代によるシューマンの美しい世界をご堪能ください。

チケット好評発売中！



おかげさまで合併5周年! 公益財団法人 日立市民科学文化財団



市民による草の根運動という全国でも類を見ない方法により昭和51年に誕生した公益財団法人日立市民文化事業団と、科学・文化・芸術等の活性化を図るため、シビックセンターを拠点に平成2年に設立された公益財団法人日立市科学文化情報財団が、それぞれの得意分野のノウハウを結集し、更なる文化事業の推進を目的とし、合併したのが平成27年4月。今年で合併5年目を迎えた。

私たちは「心豊かなまちづくりを実現する財団」であるといつことを胸に刻んで、活動を推進してきた。例えば、都会に行かなくても、ここ日立で有名アーティストに会える。毎年家族みんなで一流の大道芸



上:イルミネーション点灯式 (ゲスト平原綾香)
中:野外オペラ《マクベス》
下:ひたち国際大道芸

を堪能できる。科学館に行けば「なぜ」の答えが見つかり、プラネタリウムでは季節ごとに星の話しを聞かせてくれる。つまり、私たちの仕事は、身近にドキドキワクワクが体験できる時間を市民の皆さんに提供するということだ。

日立市に住む市民のみならず、科学・文化によって豊かなものになっていく。誰もが住んでいてよかったと心から思ってもらうことによって、子どもや孫たちの世代に日立の素晴らしさを継承していつてもらう。市民一人ひとりが、ふるさとへの愛情を抱き、創造的なエネルギーに満ち溢れるまち。そんなまちづくりを市民のみなさんと一緒に作っていききたい。これが、この先も替わることのない私たちの想いである。

「〇〇のコンサートが観たい!」「××みたいなイベントを開きたい!」

「はできないの?」一見無茶と思われる意見でも構わない。ぜひともご意見をいただきたい。これからもみなさんに喜んでいただけるような事業展開をしていきます!



右:布袋寅泰コンサート
上:なつのみみつ基地プログラミング教室
5年間で多様な事業を展開



2017.11/5日 開演 16:30 / 開演 17:00
会場:日立市民会館
チケット:8,000円

編集後記

■7月としては記録的な日照時間の短さだった。確かにカッツと暑かった記憶があまり無い。昨年の酷暑とはえらい違いだった。テレビでは、ある農家さんが不作を嘆いていた。自然を前に人間は無力だ◆あくまで趣味として:我が家ではプランターで小さな家庭菜園を楽しんでいる。子どもと収穫する図を思い描き、せつせつと水を与えている。ここ最近はずっかり野菜の美味しさの虜になった■庭にいろいろな虫たちに出会う。子どもの頃は樹木に空いている穴に手を入れてカブトムシやクワガタを探したのだが、野菜とは反対に今は虫を見ると鳥肌が立ってしまう。あの頃の自分に「お前は虫が苦手になる」と伝えたら信じるだろうか? (M)

表紙の写真



「涼しい〜」。子どもが大騒ぎで水浴び。シビックセンター新都市広場では定時に噴水が楽しめるようになっている。ずぶ濡れになっても気にしない子ども達を尻目にサラリーマンが汗をかきながら歩く。〜うらやましい〜…。きっと心では思っているハズ。

撮影は滑川本町の和田浩司さん。ふるさと日立カレンダー応募作品より。

発行 公益財団法人日立市民科学文化財団
「ひたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633
HPアドレス <http://www.civic.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せください。

